送辞

日ごとに暖かくなり、春めく日差しに誘われるように、新たな生命の芽吹きが感じられる季節になりました。本日、この佳き日に、晴れて三国高等学校を卒業される三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生を代表して、心よりお祝い申し上げます。

三年生の皆さんにとって、この三国高校で過ごした三年間はどのようなものだったでしょうか。きっと、今、先輩方の中では三国高校で過ごしたたくさんの思い出が蘇っていることでしょう。

私たち在校生も今、先輩方とともに過ごした日々の記憶を思い起こしています。様々な場面で私たちの前に立ち、活躍していた先輩方の姿は、いつも私たちの目標でした。

部活動では、常に先輩方が先頭に立って、私たちを導いてくださいました。今年度はコロナ禍の活動制限も緩和され、どの部活動も活動の幅が広がったと思います。
私が所属する吹奏楽部でも、地域行事での演奏依頼が増え、月に一度の朝市ライブの開催を定着させることもできました。昨年度よりも演奏の機会や場面が大きく広がったにも関わらず、先輩方は常に周りを把握して、私たちのことを気にかけてくださいました。また、コンクールや演奏会などで、堂々とソロを吹く先輩方の姿や音色は、とても輝いていて、いつもたくさんのお客さんに感動を届けていました。
私たち吹奏楽部にとってこの一年は、シンフォニックジャスバンドとしての新たな挑戦を始めた時期でもありました。先輩方が、ときに悩みながらも着実に積み上げてきた挑戦の数々は、部を引き継ぐ私たちの基盤となるものです。先輩方と活動できたこの二年間は私たち後輩にとって素晴らしい経験でした。

コロナ禍に入って三年、今年度の学校祭が最もコロナの影響を受けたかもしれません。準備期間は平年並みに戻りましたが、校内でも感染が広がり、活動停止に追い込まれる部門もありました。そんな中でも先輩方は、参加できないメンバーとも連絡を取り合い、制作スケジュールや練習計画を何度も練り直し、ときにはリモート会議もしながら、様々な形で準備を進めてきました。どの色もどの部門も、欠けることなく学校祭に参加できたのは、先輩方の努力の賜物です。

コロナ禍にもようやく出口が見え始めました。コロナ前ともコロナ禍のさなかとも違うこれからの生活はどうなっていくのでしょうか。中学・高校生活の大部分をコロナ禍の中で過ごしてきた私たちは、正直不安でいっぱいです。それでも、先の見えない状況の中でも、挫けることなく学校生活を送った先輩方の思いを、これからは私たちが引き継いでいきます。

本日、この三国高校を卒業される先輩方。これから、先輩方は進学や就職へとそれぞれの道に進んでいくことと思います。常に臨機応変に私たちをリードしてくださった先輩方なら、どんな困難にぶつかっても、きっと乗り越えることができます。三高卒業生として、高い志を持って、これからの人生を切り拓いていってください。これからの先輩方のさらなるご活躍を心から願っています。

令和五年三月一日
在校生代表　桶谷彩翔